

2023年8月27日～9月5日の10日間、リポジットコア再解析プログラム ReCoRD の第一弾 ReC23-01 “Tracing Intermediate Water Current Changes and Sea Ice Expansion in the Indian Ocean” が実施された。このプロジェクトは、新第三紀を通したインド洋の海洋循環を、特に中層水の起源の変化に注目して復元し、グローバルな気候変動のタイミングとの関連を知ることが主目的である。DSDP Leg 28 で掘削された Site 266（インド洋南半球高緯度）、ODP Leg 121 で掘削された Site 752A（インド洋南部 Broken Ridge）、そして ODP Leg 115 で掘削された Site 707AB（赤道インド洋西部）のコアを対象としている。これらのコアについて、スキャン画像と X線 CT 画像を事前に取得した後、コアセンター KCC で Archive Half の記載とスミアスライド観察、Working Half からの個人試料サンプリングを行った。また、事前に Bruker 社において、M6 JETSTREAM を用いて、一部のコアセクションの XRF マッピングを行った。とりわけ今回重要であったのは、X線 CT 画像とスミアスライドにより、Site 266 のコアにおいて海水漂流砕屑物 IRD の量を正確に推定できたことであり、これは DSDP 時代にはできなかった研究である。また、XRF マッピングも岩相変化を捉えるのに非常に有用であることが判明した。今後、採取された試料を用いて個々の研究が遂行される。

#### 日程

2023/08/27(日) PM オリエンテーションとサンプルリクエストによるプレゼン  
2023/08/28(月) Site 266 記載・サンプリング、PM データリクエストによるセミナー  
2023/08/29(火) Site 266 記載・サンプリング  
2023/08/30(水) Site 266 記載・サンプリング  
2023/08/31(木) Site 266, 707 記載・サンプリング、PM 研究セミナー  
2023/09/01(金) Site 707 記載・サンプリング  
2023/09/02(土) 巡検（芸西メランジュ、赤岡、引率：高知大学橋本善孝教授）  
2023/09/03(日) Site 707, 752 記載・サンプリング  
2023/09/04(月) Site 752 記載・サンプリング  
2023/09/05(火) Site 752 記載・サンプリング、全体ラップアップミーティング

#### 参加者

黒田潤一郎（東京大学）、Gerald Auer（University of Graz）、Or Bialik（University of Münster）、Beth Christensen（Rowan University）、Anna Joy Drury（University College London）、池原 実（高知大学）、An-Sheng Lee\*（Taiwan National University）、松井 浩紀（秋田大学）、Theresa Nohl（University of Vienna）、関 有沙\*（信州大学） \*データリクエスト

#### 学生参加者

Tamara Hechemer（University of Graz）、Jing Lyu（University of Münster）、Xabier Puentes-Jorge（University of Graz）、吉岡 純平（東京大学）、

学生サポートスタッフ

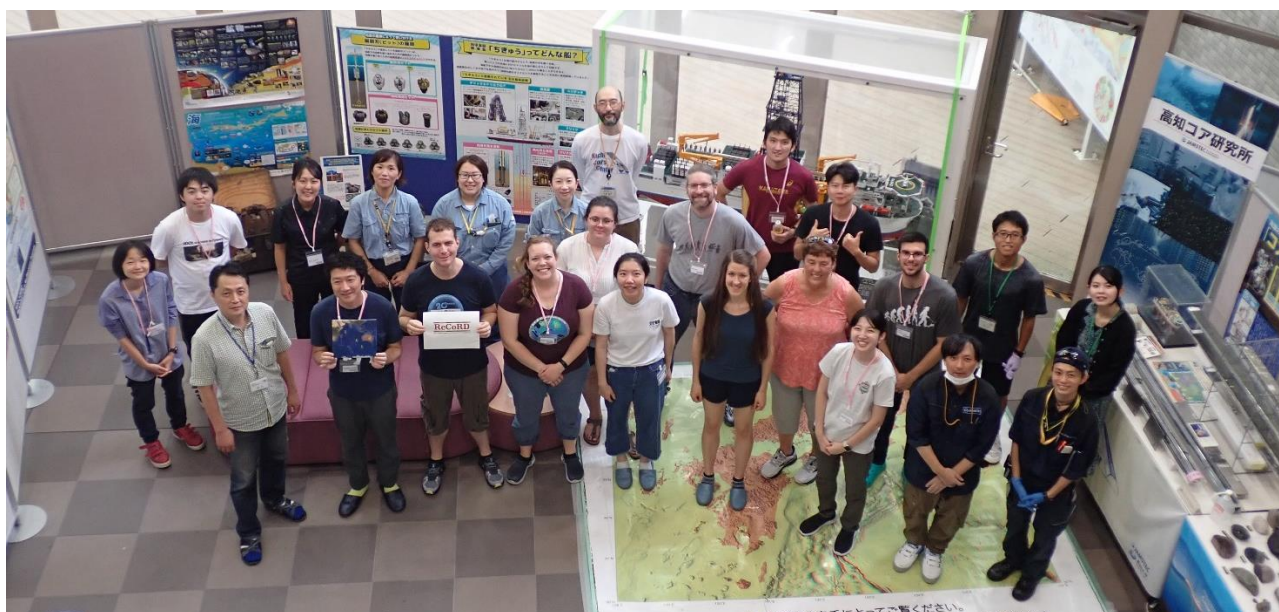
小野 光 (秋田大学), 畠 美沙希 (広島大学), 大西瑠美奈 (広島大学)

JAMSTEC キュレーター・リエゾン

久保雄介 (JAMSTEC), 奥津なつみ (JAMSTEC)

オンライン参加者

Werner Piller (University of Graz), David De Vleeschouwer (University of Münster)



ReC23-01 参加者集合写真



PI の Gerald Auer 博士によるプレゼン



ReC23-01 サンプルング風景

謝辞：ReC23-01 実施にあたり、高知大学海洋コア国際研究所から宿泊費のサポートおよび食費の一部サポートをいただいた。また、JAMSTEC 高知コア研究所のキュレーター久保雄介博士には、スケジュール構築、事前データ取得、サンプルリクエストのハンドリング、実施期間中の様々なサポートを賜った。同高知コア研究所スタッフの皆様、マリンワークジャパンのスタッフの皆様には、サンプルングバ

ーティーにおいてコアハンドリングなど様々なサポートをいただいた。Bruker Japan 社には、M6JESTREAM の使用の際に様々な技術的サポートを賜った。以上の方々に深く御礼申し上げます。